

平成27年度 事業計画（案）

少子高齢化に加え、相次ぐ大規模災害、子育てや介護の不安など、深刻な問題が顕在化し、福祉ニーズはさらに多様化・複雑化してきています。新年度から日常生活自立支援事業の実施体制の見直しが行われ、更に生活困窮者自立支援事業の実施、又、介護保険制度が改正され現在の要支援1・2については地域支援事業に移行(平成29年度完全移行)され新たな課題への取り組みが必要となっております。このような状況の中、社会福祉協議会はこれらのトレンドにしっかりと対応して事業の展開を図るため、「地域福祉活動計画」を策定し、地域福祉推進の中核的機関として、「互いに支え合い、安心して生活できる福祉のまち・篠栗づくり」に取り組んでいかなければなりません。

そこで、これらの時代の要請に対応しつつ、次の諸事業について、住民参加による地域福祉を推進してまいります。

地域福祉のなかでも小地域福祉事業に位置づけされる「ふれあい・いきいきサロン」や「ボランティア活動」の推進、要援護者の見守りとして乳酸菌飲料の配布、高齢者の皆様が安心して生活できるよう、事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分等を実施する新規の「ずっと安心スマイルライフ事業」子育て支援事業として「ふれあい・子育てサロン」、レスパイトケア事業として「すまいるサロン」「すまいるサロン・キッズ」一年間の学習発表・交流の場として「すまいるサロンコンサート」知的障がい児・者を対象とした「ふれあい・サタデー」など、地域で支える仕組みづくりを推進してまいります。

また、ひとり親家庭支援事業として「ふれあいデイキャンプ」ボランティアの担い手を育成する「地域デビュー講座」、男性ボランティアの人材確保と育成のための講座や、小学生には欠かせない福祉教育としての体験講座など引き続き実施し地域を支える人材確保に努めます。

介護保険・介護予防などの訪問介護事業につきましては、依然として厳しさが続きますが、利用者ニーズに沿ったサービス提供を実施できるよう、人材確保、研修による資質向上を図り、また、広報活動を充実し利用者の獲得、運営の健全化に努めていきます。

収益金を一般会計に繰り入れ充当している葬祭事業は、利用者のニーズに沿ったサービスの向上に努め、利用率の増加に努めてまいります。衣裳貸出事業は、ニーズの高い衣裳を揃えより多くの方にご利用いただけるよう努めます。仏舎利殿納骨堂管理運営事業につきましては、利用者に安心してご利用いただけるよう努めてまいります。

重点目標並びに主な事業の実施計画（案）は、次のとおりです。

I 重点目標

「地域のつながり、支え合いを実感できる仕組みづくり」を推進し、期待され、信頼される社会福祉協議会を目指す。

- | | |
|----------------------|--------------------|
| (1) 安心して生活できる地域福祉の構築 | (2) 介護保険事業等の運営の健全化 |
| (3) 収益事業の充実強化 | (4) 運営基盤の強化 |

主 な 事 業 計 画 (抜粋)

安心して生活できる地域福祉の構築

○地域福祉活動計画の策定

だれもが、安心していきいきと暮らすことができるよう、
地域福祉力を高めるため必要な活動計画を定めるものです。

○ふれあい・いきいきサロン

平成25年度 185回 参加者 5,948人

平成26年度 186回 参加者 6,000人見込

○ボランティア養成講座

・夏休み福祉体験教室

様々な障がいを理解するための体験学習等。

・精神保健福祉講座

精神障害を理解しボランティア活動に繋がります。

・地域デビュー講座

これからボランティアを始めようという方への講座です。

・認知症サポーター養成講座

認知症を正しく理解してもらい地域での見守り活動を推進します。

子育て支援

○ふれあい・子育てサロン (閉じこもり防止・仲間づくり)

○ぐりっこだよりの発行 月1回発行

○たのしい子育て講座

・幼児安全法 緊急時の対処法等学びます。

・父親向け子育て講座 子育てにどう関わっていくか学びます。

・抱っこ法講習会

親と子の心を繋ぎ育児の悩みなど解決していきます。

・ベビーサイン教室

子どもと親のコミュニケーションの取り方について学びます。

・ベビーマッサージ教室 親子のふれあいの時間を作ってもらいます。

高齢者福祉

○ずっと安心スマイルライフ事業

事前に預託金を預かり、葬儀・家財処分等行います。

障害者福祉

○すまいるサロン (余暇活動の場・レスパイト事業)

月1回開催予定

○すまいるサロン・キッズ (余暇活動の場・親子へのサポート)

年3回開催予定 参加対象者小学生以下の知的障がい児とその家族

○すまいるサロンコンサート

サロン参加者を対象に年1回音楽コンサート開催予定

○ふれあいサタデー (社会参加・地域交流・仲間づくり)

年間 5～6回

知的障がい者等およびその家族を対象とした野菜づくり活動

一般福祉事業

○日常生活自立支援事業

福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などに不安がある方
のお手伝いをします。

母子・父子福祉

○ふれあいデイキャンプ

・野外活動を通して親子のふれあい、交流会を行います。

葬祭事業

○整備・維持の充実

主 な 事 業 計 画

※新規事項又は重点事項

1 安心して生活できる地域福祉の構築

(1) ふれあい・いきいきサロン

(2) ボランティア活動

◆ ボランティアセンターへの依頼（活動数）

2,158 人（平成 25 年度）

2,087 人（平成 26 年度見込み）

○ 新規ボランティアの育成

※ ○ ボランティア養成講座

地域デビュー講座・夏休み福祉体験教室

精神保健福祉講座

○ ボランティア活動の支援強化…ボランティア連絡協議会への助成

(3) 児童福祉

○ 福祉教育読本の配付（小学校 5 年生）

○ 子ども育成会へ助成

○ 児童・青少年福祉事業へ助成

○ 福祉協力校への活動支援

(4) 子育て支援

※ ○ ふれあい・子育てサロン

○ ぐりっこだよりの発行

○ たのしい子育て講座

幼児安全法・父親向け子育て講座

抱っこ法・ベビーサイン教室

ベビーマッサージ教室

(5) 高齢者福祉

○ しるばア大学

○ 老人クラブ連合会へ助成

○ 老人クラブ（空き缶クリーン作戦）への助成

○ ひとり暮らしの高齢者等の見守り

乳酸菌飲料配布（70 歳以上）

○ マッサージ・鍼灸への助成(65 歳以上)

○ 福祉餅つき大会

※ ○ ずっと安心スマイルライフ事業

(6) 障害者福祉

※ ○ すまいるサロン

※ ○ すまいるサロン・キッズ

※ ○ すまいるサロンコンサート

※ ○ ふれあいサタデー

○ 移送サービス事業

○ 紙おむつ配付

○ 歳末助成

○ 心身障害児・者親の会（栗の実会）へ助成

○ 身体障害者福祉協会へ助成

(7) 生活困窮者自立支援

○ 生活福祉資金貸付

(8) 一般福祉サービス

※ ○ 法人化 40 周年福祉大会(9 月 6 日（日）予定)

○ 心配ごと相談（毎月 2 回弁護士・司法書士・相談員）

○ 福祉バスの運行

○ 初盆供養供え物配付

- 福祉用具の貸出
- キャンプ用テント貸出
- 餅つき道具の貸出
- ※ ○ 日常生活自立支援事業
- (9) 母子・父子福祉
- ※ ○ ふれあいデイキャンプ
- (10) 広報活動
 - 広報紙「社協だより」の発行
 - ホームページでの情報発信
 - 行事カレンダーの発行
- 2 運営基盤の強化
 - (1) 自主財源の確保
 - 会員制度の推進
 - 共同募金運動の推進
 - (2) 組織運営の機能強化
 - 理事会・評議員会の充実
 - 職員の資質向上
- 3 介護保険・介護予防・障害者自立支援事業の運営の健全化
 - (1) 介護予防・障害者自立支援事業
 - 障害者自立支援事業に係わるホームヘルプサービス
(身体・知的・精神障がい児、者)
 - 産後支援・家事援助に係わるホームヘルプサービス
 - (2) 介護保険事業(訪問介護)
 - 広報・宣伝活動の強化(ホームページ)
 - ※ ○ 人材確保
 - ホームヘルパーの研修による資質向上
 - 利用者ニーズに沿ったサービス提供

4 収益事業の充実強化

- (1) 衣裳貸出事業
 - 着付け教室の開催
 - 宣伝活動の強化(ホームページ・リーフレットの作成)
 - 七五三衣裳などの充実
- (2) 仏舎利殿管理運営事業
 - 管理運営の検討
 - 春・秋の法要
 - 整備・維持の充実
- (3) 葬祭事業
 - 整備・維持の充実

★ 平成 27 年度(予算)	事業収入	34,364 千円
	賃借料	7,862 千円

一般会計へ繰入
(平成 27 年度予算)
2,000 千円

★ 葬儀件数

- ① 平成 25 年度 177 件〔天空会館 176 件(99%)、
自宅 1 件(1%)〕
- ② 平成 26 年度(見込)
171 件〔天空会館 170 件(99%)、
自宅 1 件(1%)〕